

# 日常生活を取り戻す遠隔地避難を

NHK「バリバラ」のご意見番 **玉木幸則氏**

能登半島地震 緊急時の「命の選別」に警戒を



西宮市議会議員 玉木幸則氏

私は1月、NHKのEテレの「バリバラ」のご意見番として知られる社会福祉士の玉木幸則氏にインタビューをしました。玉木氏は1月1日に発生した能登半島地震について災害関連死の防止を最優先すべきだとの考えを示し、被災者が日常生活を取り戻すための遠隔地避難の実施を求めました。2面に関連記事

# かんの雅一まさかず



かんのインタビューに答える玉木幸則氏＝西宮市議会応接室

「おく理由はどこにもない」と強調しました。玉木氏は「他県でもいいから、住宅が提供される環境に移って普通の暮らしをしてもらい、災害関連死を防ぐことが最優先だ」と指摘。被災者が避難先で孤立しないようにするため、地域社会ごとの集団による遠隔地避難の実施を求めました。

玉木幸則(たまき ゆきの)氏の略歴 昭和43年8月、兵庫県姫路市に仮死状態で生まれる。4歳で肢体不自由児療育施設に入所。小中学校は地元の普通学級で学ぶが、高等学校は養護学校へ。日本福祉大学社会福祉学部第2部卒業。特定非営利活動法人メインストリーム協会(西宮市の自立生活センター)の勤務を経て平成24年11月から令和2年3月まで西宮市社会福祉協議会に勤務。現在は一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事、内閣府障害者政策委員会委員など。NHKのEテレ「バリバラ」のご意見番。社会福祉士。

西宮市政報告

# かんの新聞

第35号

年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

市は令和5年12月、財政構造改善基本方針に基づき事業見直しを公表し、健康ポイント事業について事業の見直しを行うため、今年9月末で中断する方針を明らかにしました。中断の期間は未定。私は中断によって健康づくりへの市民の意欲が衰えることを危惧しています。



## 健康ポイント事業を中断へ 今年9月末で

財政構造改善基本方針に基づく事業見直し

中断を決めた理由については「昨今の財政状況を踏まえて考えた場合、現在の予算ペースで毎年度1.4億円、対象者数の増加を考えると、将来的にそれ以上のものを投入し続けるかどうか、いったん立ち止まって判断する必要がある」と強調し、「事業を楽しむにしている市民に対して申し訳ない」と謝罪しました。

## お待ちしております!!

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが向いて市政報告をします。



定期送付のご案内

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 メール・FAXでのお申し込みはかんの雅一宛 本紙最下段に記載の宛先まで

## 言葉の解説 シェアサイクル事業とは何?

街中に設置されたサイクルポート(無人の自転車貸出・返却拠点)から、利用者が自転車を借り、利用後は最寄りのサイクルポートに返却できる交通サービス。レンタサイクルと異なり、借りた場所と違う場所にも返却できるため、柔軟な利用が可能。本市は令和元年7月から利用動向調査を実施中で、今年1月現在、公共用地を含めた76カ所でサイクルポートを設置しています。料金は利用開始後30分130円で、以降15分毎に100円(12時間以内最大1,800円)。利用回数が伸び、好評であることから、4月から事業を本格実施します。



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。令和5年4月の市議選で3選。5月から副議長。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会会長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。防災士。保育士。

次号は令和6年5月の発行予定です

## かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530 (MAIL) info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ [www.kannomasakazu.com](http://www.kannomasakazu.com)

かんの雅一 検索

# 玉木幸則氏インタビュー 主な1問1答



■玉木幸則氏(右)とのかんの西宮市議会応接室

## 能登半島地震についての考えは。

「私は29年前の阪神・淡路大震災で住んでいた上ケ原のアパートが倒壊し、生き埋めになった。約2時間後に近くの人によって救出された」  
— 大変でしたね。

「指定避難所は障害者にとって一晩も過ごせない環境だった。当時の勤め先の代表宅にしばらくいたが、発生から約2週間後、名古屋市の市営住宅に例外的な措置で入居させていただいた。私はやっと落ち着き、日常生活を取り戻した。被災地と違って静かな環境であり、毎日の入浴や布団で寝るのありがたさを感じた」  
— 心身とも回復できたんですね。

「この経験から言えば、被災者が被災地にとどまっておく理由はどこにもない。とりあえず他県でもいいから、住宅が提供される環境に移っ

て普通の暮らしをしてもらい、災害関連死を防ぐことが最優先だ。被災者が避難先で孤立しないようにするため、地域社会ごとの集団による遠隔地避難を実施してほしい」  
— 大切な取り組みですね。

「水道や電気、ガスなどのライフラインが回復し、仮設住宅に入居できる状況になってから戻ればいい。これは障害のある人も、ない人も被災者全てに共通する課題だ」  
— 災害時に障害者や高齢者らの社会的弱者にどのような配慮をすべきですか。

「東日本大震災で被災し、人工呼吸器の電源を確保できず、病院に運び込まれた医療的ケア児に医師がトリアージで『医療不要』と判断したため、医療的ケア児は病院から出ざるをえなくなった。医師は患者が置かれた環境を含めた判断をしなければいけない」  
— 怖いですね。

「新型コロナウイルス感染症の流行期、ある団体が『新型コロナウイルス感染症で人工呼吸器や人工肺器が不足した場合には、私は若い人に高度医療を譲ります』と記載した意思表示カードを提唱し、物議をかもしたことがあった」

## 阪神・淡路大震災で生き埋めに

「津波対策が今年度末で完了へ」  
1月1日の能登半島地震を受けて、災害対策の重要性が改めて注目されています。兵庫県は南海トラフ地震に伴う津波対策として進めている「津波防災インフラ整備計画」を令和5年度末で完了させる予定です。

計画では、西宮・今津地区を重点整備地区に指定しました。今津港における新しい新川水門の整備や鳴尾川の防潮堤の沈下対策が完了。現在は新しい新川水門とつながる防潮堤の工事と今津港に隣接する臨港道路のかさ上げ工事を実施しており、今年3月で完了する予定です。

計画が完了すれば、西宮市全体の津波浸水想定区域(防潮堤内)が842ヘクタールから163ヘクタールに約81%減少。残りの浸水想定区域についても居住地域では浸水の深さは30センチ未満になり、避難行動を

## 根強く残る優生思想

「自分の意思を示すものであっても他者への無言の圧力になる可能性がありますね。」  
「ある喜劇俳優がこれについて『このカードによって年寄り切り捨ての風潮が一層進むかと思うと、怖い。私みたいに生きる意思を強く持っている高齢者は多い。年齢という物差しだけで医療現場で見捨てられるのはやりきれない』と反論してくれた」  
— 深刻な問題ですね。  
「社会には優生思想が今も根強く

残っている。平時には表面に出てこないが、災害や感染症の流行などの差し迫った局面では命の選別につながるような動きが出てくる恐れがある」  
— どのような取り組みが必要ですか。  
「障害のある人も、ない人もともに生きる社会にすることだ。全ての人々が地域で暮らせる社会を実現したい。全ての人を分けず、排除せず、全ての人に平等な選択肢があり、ともに生きていく『フル・インクルージョン』を目指すべきだ」

## 津波対策が今年度末で完了へ

注目集める災害対策 高潮対策は継続

取ることができるとしています。

県は引き続き、平成30年の台風21号の被害を受けて策定した高潮対策10箇年計画を順次進めています。今津港では、新川・東川統合排水機場を整備する計画で、これに伴い、昨年9月に今津灯台を移設しました。

甲子園浜の防潮堤については、鳴尾川の河口から枝川浄化センター、浜甲子園運動公園グラウンドまでの1032メートルの区間で1.7メートルのかさ上げ工事を実施。現在は鳴尾川の防潮堤のかさ上げ工事を実施しています。

浜甲子園1〜4丁目の防潮堤については、南側に人工島の甲子園浜があり、押し寄せる波は今回の工事区間より低いと想定されることから、かさ上げ工事の整備対象になっていません。

## 南甲子園小PTAが改革を推進

### 保護者の自主性を尊重／役員・委員の負担を軽減



■南甲子園小学校 南甲子園

市立南甲子園小学校PTAが改革を進めています。保護者の自主性を尊重してPTAが任意加入の団体であることの周知を図るとともに、退会届の書式を配って退会手続きを容易にしました。執行部役員や各種委員の業務負担を軽減するため、SNSの導入などで会合の回数を減らしています。

保護者と教職員で構成するPTAをめぐっては、全国的な傾向として共働き家庭の増加などから、入会を希望しなかったり、役員・委員への就任を断わったりする保護者が増えています。

西宮市教育委員会にも入退会について「知らない間に加入していた」などの苦情が寄せられ、役員・委員の選出についても「仕事のため委員決

めを欠席したら、委員に選出されてしまった」などの相談がありました。市教委は令和4年3月、「校園長のためのPTA活動ハンドブック」と題した文書を作成し、公立幼稚園の園長や公立小中学校の校長らに配布しました。この中で「入会は任意であることを説明するとともに、入会についての意思確認は何ら

## 令和7年3月末で

## 南甲子園幼稚園が閉園へ 公立幼稚園と公立保育所の再編

市は2月、公立幼稚園と公立保育所の再編に向けた行動計画である「幼児教育・保育のあり方についてアクションプラン パート2」を公表しました。この中で、市立南甲子園幼稚園を令和7年3月末で閉園する方針を示しました。

市は令和5年3月に公表した「幼児教育・保育のあり方について」で、公立幼稚園について10年間をかけて公立保育所と統合して公立認定こ

ども園に改編し、それ以外の公立幼稚園を閉園する方針を示しました。南甲子園幼稚園は公立保育所との統合の対象にならず、閉園の時期を検討していました。

南甲子園幼稚園の園児数は現在、4歳児クラスが3人、5歳児クラスが9人の計12人です。定員数は4歳児クラス30人、5歳児クラス35人の計65人であり、大幅な定



■南甲子園幼稚園 南甲子園

員割れの状態。令和6年度に入園する児童は1月時点でおらず、6年度の園児は5歳児クラスの3人だけの見込みです。

市は閉園後の施設と土地について市の厳しい財政状況を踏まえ、「転用・売却・貸付などの資産活用を検討する」としています。

「パート2」までに示された再編計画では、①市立浜脇幼稚園と市立浜脇保育所を統合し、浜脇保育所の施

し、足りない場合は会員に手紙を送るなどして協力を求めています。

南甲子園小PTAは会長や副会長、書記などの執行部役員と専門委員、学年委員、特別委員を中心に運営しています。役員・委員の任期はいずれも1年間。年会費は1760円。南甲子園小PTAの小畑友美会長は「改革の進展や先生方のご協力でPTAの役員・委員の業務量は大幅に軽減され、できる人ができる範囲でできることをする会になっています。会員から『私にできることがあったら言ってください』と声をかけていただくことも増えました。PTAがあるからこそ安心して子育てができ、子育てをより楽しめると思えるような会にした」と話しています。

設を活用して令和7年4月に認定こども園を設置する②市立子育て総合センター付属あおぞら幼稚園と市立芦原むつみ保育所を統合し、芦原むつみ保育所の施設を活用して8年4月に認定こども園を設置する③市立鳴尾東幼稚園と市立高須西保育所を統合し、高須西保育所の施設を活用して9年4月に認定こども園を設置する④市立春風幼稚園と市立瓦木みのり保育所を統合し、春風幼稚園の施設を活用して10年4月に認定こども園を設置する」としています。